

(参考)

最近の欧米の航空戦略

(1) 米国航空宇宙産業委員会最終報告と米国航空宇宙局 (NASA) ブループリント

昨年、米国航空宇宙産業委員会は、国家戦略たる航空宇宙政策に関する最終報告書を取りまとめた。すなわち、航空宇宙分野への投資と人的資源の減少、欧州航空宇宙産業政策への対抗の必要性、米国同時多発テロを受けた防衛戦略の見直し等の米国航空宇宙産業界が直面する問題に対応しつつ、将来にわたる米国の国際的リーダーシップを維持するため、「誰でも、何でも、何処へでも、何時でも」というビジョンの下に、広範な航空宇宙産業の健全化策を提言している。

具体的には、航空輸送需要の増加等に安全かつ効率的に対応できる航空交通管理システムの確立、製品証明からプロセス証明への移行、航空宇宙政策推進のための政府横断的な組織等の設置、世界市場における公平で開かれた競争を阻害する規制障壁等の排除、人的資源回復への支援、産業基盤・長期的研究・国家インフラへの投資等々の方策を提言している。また、研究開発については、国家実証目標として、航空機騒音及び排出物の 90%削減、事故発生率の 90%削減、地上 2 点間移動時間の 50%短縮 (以上、2010 年までの目標)、3 倍の容量を持つ航空輸送能力 (2025 年までの目標) 等をあげている。

また、同じく昨年、米国航空宇宙局 (NASA) は米国における航空技術開発を推進する立場から、国防総省、交通省、連邦航空局、学界、産業界の多数からの見解を招請して次世代航空の技術的展望をブループリントとして取りまとめた。技術革新を加速しなければ米国の国際的リーダーシップが失われるとの危機感と米国同時多発テロを受けた安全保障上の課題をとりあげており、生産性・国際競争力・商用利用拡大による経済成長、移動の自由の確保等による生活の質の向上等が重要としている。

具体的な NASA の役割としては、先端技術、専門知識、最新鋭設備、技術的解決策等を提供することにより米国の経済成長、安全保障等に貢献することとしており、また重要な課題としては、

- ・ 運航管理システム上の課題として、精密な気象予測と後方乱気流の予測、航空機の最適運航と管制による高容量空港等を、

- ・革新的な航空機を開発する上での課題として、騒音・排出物低減、安全性向上、高速輸送機等を、
- ・また、航空安全と航空保安（セキュリティ）上の課題として、公共および乗客の安全確保、航空機及び航空システムのテロ脅威からの保護等をあげている。

（２）欧州航空 2020 へのビジョンと航空宇宙戦略検討報告（STAR21）

2001 年、欧州委員会に招集された航空関係有識者グループは、2020 年に実現すべき欧州航空のビジョン提言と、政府等航空関係者が長期的に取り組むべき課題を欧州航空 2020 へのビジョンとして取りまとめた。すなわち、欧州の航空輸送システムの維持と国際的リーダーシップの維持などを目指し、

- ・社会的ニーズへの対応として、99%以上の運航定時性の確保、事故発生率の1/5以下への低減、航空機騒音の半減等を、
- ・国際的リーダーシップの維持として、企業間協力を奨励する枠組みの形成、最強の研究システムを維持するための品質等に関する新標準の確立、民間研究と防衛研究間の協力等を、
- ・また、政策上の課題として、欧州航空が発展・繁栄するような航空法規の整備、欧州航空安全庁（EASA）による航空安全の国際標準化等を提言している。

具体的な研究開発課題としては、2020 年に想定される新技术による航空機設計と生産、運用維持コストの低減、統合された航空管制システム、ヒューマンファクター対応等をあげるとともに、適切な政策決定と効果的な研究枠組みの構築のため欧州航空研究諮問会議の設立をも提言している。

また、昨年、欧州航空宇宙産業界、欧州委員会、EU 政策担当、欧州議会からの代表者により、航空宇宙戦略検討報告（STAR21）がとりまとめられた。欧州の持続的発展及び安全保障のためには航空宇宙産業の繁栄と競争力の向上が必須であるとしており、欧州統合本格化を契機とした政策や規制の見直しと、米国との競争を念頭に置いた政策を提起している。具体的には、世界市場における平等な競争条件確保、産業競争力向上に必要な研究への投資と税制優遇措置、人的資源確保、欧州航空安全庁（EASA）の必要性等、広範な政策を提言している。